

[15_01]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1474922>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 15 (1), 1982-03-10. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

Q&A

この欄には、センター利用に関する質問と回答を掲載している。質問はQで示し、回答はAで示す。Qの後の5桁の数字（質問番号）は、最初の2桁が広報の巻を、次の1桁が号を、最後の2桁がその号での質問通し番号を示している。なお、センター利用についての質問には、業務係（電話 2518）または受付（センター2階、電話 2520）に用意している質問票をご利用下さい。

Q 15101 HCB Sを使用して、ペンのアップ、ダウンのみで点分布を得るために、NPLOTで実行したところ何も作画されない。プレビューしてみると正しく描かれている。

A 現在、HCB S作成の図形をNLPに出力する際、ペンのアップ、ダウンのみで作画する機能がサポートされていません、富士通に要望しました。

Q 15102 PLOT Cコマンドを用いてプロッタ出力を行ったところ、他人の結果が出力された。

A PLOT CコマンドはHCB Sを利用して作図する為のコマンドで、出力装置の機番は18です。上記の原因はサブルーチンPLOTSで出力装置として16が指定されていたため、WORKデータセット上の他人の結果が出力されました。

Q 15103 MSS上のカタログされていないデータセットを消去するにはどうすればよいか。

A MSS上にデータセットを新規に作成する場合、DD文でDISP=(NEW, CATLG)としたものはカタログがされていますので、共用ボリューム上のデータセットと同様にDELETEコマンド、カタログドロシジャDELETEで消去できます。DISP=(NEW, KEEP)として作成したものは下記のようにしてください。

TSS処理：

ALLOC F(A) DA(▼データセット名▼) OLD DEL UNIT(MSS)
VOL(MSSのボリューム通し番号)

FREE F(A) 注) A…任意のDD名。

バッチ処理：

// EXEC MSSDEL, DSN=▼データセット名▼, MSSVOL=MSSのボリューム通し番号。

Q 15104 TSSでアSEMBルするため

ASM データセット名 LIB(私用ライブラリのデータセット名)

としたが、何のメッセージも出力せずREADY状態となり、オブジェクトモジュールを作成しなかった。

A ASMコマンドでライブラリオプションを使用すると、プロンプタはアSEMBルに必要なライブ

ラリを次の順序で連結します。

(1) LIBDD (2) LIB (3) MACLIB

ここで、MACLIBとはシステムマクロライブラリでSYS1.MACLIBというデータセットが用いられています。NOMACLIBオプションを指定しない限り自動的に割り付けます。

この場合は、LIBオプションを指定したため、私用ライブラリ（ブロックサイズ3,120バイト）とSYS1.MACLIB（ブロックサイズ12,960バイト）を連結しようとしたのですが、区分データセットの連結の規則として一番先頭のデータセットのブロックサイズが最大でなければいけませんので、異常終了しました。私用ライブラリのブロックサイズが小さい時は下記のようにして下さい。なお、バッチ処理ではSYS1.MACLIBが先頭に来るようにカタログドプロシジャを作成しています。

ASM データセット名 LIB(▼SYS1.MACLIB▼) 私用ライブラリのデータセット名)

◇ プログラムライブラリ開発課題の募集について

センターではプログラムライブラリ開発課題を随時募集しています。

開発計画をお持ちの方は「プログラムライブラリ開発課題申請書」に必要事項を記入し、センター図書室に提出して下さい。

なお、対象となる課題は広く各分野で使われる可能性のあるプログラム、またはある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムで、新規開発および書換えを含みます。その他詳細については利用の手引ライブラリ編を参照し、不明な点はセンター図書室にお問合せ下さい。